

## 会 議 録

会議の名称	令和8年度 第2回 大平地域会議
開催日時	令和8年5月28日(木) 午後6時30分 開会 午後8時12分 閉会
開催場所	大平総合支所新館 2階第1.2会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 令和9年度実施分 地域予算事業計画書(案)について 4 その他 (1) 令和8年度実施分 地域予算提案事業について〔報告〕 (2) 令和8年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク について (3) 次回 大平地域会議について 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
会長	3 議事 (1) 令和9年度実施分 地域予算事業計画書(案)について
事務局	<u>資料の説明事項</u> ・実際に市へ提出する書式での令和9年度実施分 地域予算事業計画書(案)になる。 これまでの地域会議で検討を進めてきた通り、令和9年度は ①交通事故防止対策事業 ②地域コミュニティ活性化事業 ③大平地域の魅力発信事業の3つの事業の提案を予定している。
事務局	<u>資料1の説明事項</u> ①交通事故防止対策事業については、継続事業として令和9年度の継続実施を予定している。 事業概要としては、通学等で自転車に乗る機会の多い中学生を対象に、より交通

	<p>事故の恐ろしさを実感できるスケアードストレート方式の交通安全教室を実施する、とした。</p> <p>令和9年度は、大平南中学校での開催予定。先日、大平南中学校へ連絡し、令和9年度の実施について話をして内諾は得ている。予算も業者から見積もりを徴し、予算見積として計上している。担当部署は生活環境部交通防犯課交通防犯係となる。</p> <p><u>資料1についての質疑応答</u></p>
委員A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この後の話で出てくるかと思うが、本日、令和8年度実施分の交通安全教室を初めて見学した。リアルな場面や、中学生をヒヤッとさせる場面もあって、勉強になったと思う。これまでは、大平中、大平南中、高齢者の3者で毎年実施してきたが、中学生に加え、小学生も対象にしてもいいのではないかと感じた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生は実施のたびに、中学生全員が初めて見学することになるが、高齢者を対象とした回は、見学する方が毎回変わらないことが課題となっていたので、令和10年度実施分を検討する際の、貴重なご意見だと思う。</li> </ul>
委員B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大平東小では3年生を対象にした交通安全教室を学校独自で行っている。一人で自転車に乗り始める子が出てくる時期でもあると思うので、交通安全教室があってもいいかと思う。</li> </ul>
委員C 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年実施しているが費用は上がっているのか。</li> <li>・担当課が来年度の見積もりを取ったところ、今年度に比べ1万円の増額があった。物価高・人件費が上がっている状況なので致し方ない増加額だと思っている。</li> </ul>
事務局	<p><u>資料2の説明事項</u></p> <p>続いて、②地域コミュニティ活性化事業については、今まで地域会議で検討してきた通り、新規事業として、防災イベントを開催する内容となる。地域政策課にも、この事業の事業概要、予算見積を確認してもらったところ、「栃木市地域未来ビジョン」にも合致しており、内容についてもソフト事業が行われ、楽しみにしている旨の話があった。</p> <p>事業概要としては、地域の避難所となっている大平地域の中学校を会場に、防災イベントを開催し、災害への備えの啓発を行う。また地域の顔が見えるコミュニティの形成が醸成できる体験ブースを設け、地域コミュニティの活性化を図る、とした。</p> <p>今まで話し合ってきた中で、①防災士の講話、②避難所体験、③災害食の実食、④ワークショップや各種体験、⑤広報、啓発品の準備が挙げられてきた。それらについて概算を積算した内容をお配りしている。</p> <p>先日の地域政策課との協議の中で、地域政策課が懸念していたのが、集客の心配。イベントを実施するにあたり、防災という切り口だど、面白みに欠けてしまい人が集まらないという心配があるという話があった。</p> <p>栃木中央地域会議も同じように令和9年度、防災イベントを計画している、ということで検討内容を聞いてみたところ、防災イベントを手掛けている会社に協力を仰ぎながらイベントを実施するという話だった。その業者は、壬生町の防災イベントでの実績があるということ。</p>

	<p>地域予算で、防災イベントを企画しているので、大平地域において、より多くの人に集まってもらえるイベントを実施したいと思っている。ただ、実際に防災イベントを実施するマンパワー、ノウハウが足りていない状況なので、業者に協力を仰ぐことで、解消できるのではないかと考えている。イベントを成功させるために、業者へ委託できる部分は委託を行いながらイベント全体を企画するのも方法の一つかと考えている。業者への委託するという点について、地域会議の委員の皆さんのご意見を伺えればと思う。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が用意した、業者のHP資料があるので、それを回すので目を通してもらいたい。皆さんに見ていただいた後、ご意見いただきたいと思う。</li> </ul>
	<p><u>資料2</u>についての質疑応答</p>
委員D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを開催するにあたって、心配なのは、集客というのは同感。メインターゲットは家族連れ、ということで話し合ってきた。子どもと一緒に来場した親に、いかに防災について考えてもらうきっかけを作れるかがカギだと思う。</li> </ul>
委員E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず子どもが行ってみたいとなるブースや要素が必要だと思う。防災士の講話などは、地元のことを把握している防災士がいいのではないかな。</li> </ul>
委員D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年2月にきららの杜とちぎ蔵の街楽習館で開催された防災フェスにも関わっていた防災士の方、または鹿沼市の防災士の方も関わって下さった。</li> </ul>
委員B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の消防団に来てもらって、ロープワークや初期消火の体験を行うのもよい。災害が発生した場合の、それぞれの役割の中の初期対応を知っておくことも有効だと思う。市の初期対応、消防団の初期対応、市民の初期対応を知っておくことが大切。</li> <li>・消防団と、消防署でもできることは異なる。イベントにははしご車を呼べるとよい。</li> </ul>
委員F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土のうを作ったことのない人は多いと思う。新聞紙でのスリッパ作りや、一輪車の扱い方、ペットボトルのランタンづくりなど、楽しみながら、災害時に役に立つ体験ができるとよいと思う。</li> </ul>
委員G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日赤や社会福祉協議会、高校生のボランティア組織(レインボー)などに声をかけて協力してもらうことでイベントを実施できるのではないかな。</li> </ul>
委員D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てを業者へ委託するのではなく、地域会議で組織する実行委員会で行う部分と、業者へ委託する部分を分けてもいいのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実は、業者との打ち合わせを、来週予定している。そこでよく話を聞きたいと思う。会長、副会長等、ご都合がつけば同席いただけると有難いと思っている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客など、私どもでは思いつかない、できない内容などを持っていると思うので、その辺について業者に話を聞いてみたいと思う。</li> </ul>
	<p><u>資料3</u> 説明事項</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて地域の魅力発信事業の説明。世間遺産については、市役所本庁舎4階でパネル展を開催し、その様子が下野新聞に掲載されたり、パネル展を見た市の職員からは、世間遺産という切り口の面白さについて話をもらうこともある。認知度を少しずつでも上げていきたいと思う。</li> <li>事業概要としては、この地域の魅力発信事業については、世間遺産マップを作</li> </ul>

	<p>成し、今まで以上に広く周知していくことで、自分の住んでいる地域に愛着や興味関心を持つ大平地域の市民が増えることを目的に実施していく、とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域の魅力発信事業は、大きく3つの項目に分けている。</li> </ul> <p><b>①</b>ミウラ折りによる世間遺産マップを作成すること。</p> <p>B2サイズのを10,000部で予算を計上。現在は正確な見積り依頼をしている最中です。</p> <p>世間遺産マップの作成イメージとして、栃木市と関係のない別自治体のものになるが、印刷業者から届いたサンプルがある。回していくので、ご覧ください。</p> <p><b>②</b>世間遺産マップと連動した、インターネット上のサイトの作成。</p> <p><b>①</b>のマップの作成とも関係するが、マップの紙面1枚で大平地域に点在する世間遺産の場所を正確に指し示すことは難しい、と印刷業者から話がでている。なので、マップとインターネット上のサイトを連動させて、マップのQRコードを読み込めば、正確な位置やそのほかの写真を確認できるようなインターネット上のサイトの作成が必要。以前業者から徴したHP作成の見積額を計上してある。HPがいいのか、インスタグラムがいいのかというのは検討の余地があるところなので、事業を委託することになる認定実働組織大平わいわいテラスの方とも話し合いを進めていき、検討したいと考えている。</p> <p><b>③</b>マップが完成した後の、まち歩き事業。マップ完成記念のまち歩き事業は、バスでの開催、という検討結果がある。バス会社から見積もりを取り、バス2台分の予算や、世間遺産マップの完成を知らせるチラシ、まち歩きイベント開催のチラシ等の作成を見込み予算計上してある。</p> <p><u>資料3についての質疑応答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミウラ折りという折り方でのマップの作成が必須事項になるのか。</li> <li>・ミウラ折りは特許を取っている折り方で、折り目が重ならないため、地図として長く愛用できる折り方とされている。また、一気に開くことができるので、地図として視認性に優れている。わいわいテラス単独で、この世間遺産マップの地図を作成することを考えたときに、このミウラ折りで世間遺産マップを作成したい、とミウラ折りにこだわった。今回作成する世間遺産マップは、すぐに捨てられてしまうような地図ではなく、大切に保管し、長く使ってもらえる地図を目指しているので、このミウラ折りでの作成は、譲れないと考えている。</li> <li>・この事業については、認定まちづくり実働組織の大平わいわいテラスへ業務委託し、進めていく想定なので、今後も大平わいわいテラスと話をしながら、世間遺産マップ、インターネット上のサイトとの連動、まち歩き事業を計画し進めていきたいと思っている。</li> <li>・最後に令和9年度の3つの事業について、他にご意見等がありますか。</li> <li>・本日も熱心に協議いただき有難く思います。現在検討いただいている、事業概要書、予算見積書の提出後は、令和9年度実施に向け、計画を進めていきたいと思っている。令和9年度の市予算に係る事業は、3月議会で議決後の新年度</li> </ul>
委員A 委員H	
事務局	
会長	
事務局	

<p>会長</p>	<p>になってから動き出さなくてはならない、というのが本来ではあるのですが、地域政策課からも了解をもらいながら今後、今年度中に進められる部分は実施に向けて進んでいきたいと思う。地域会議委員の皆様には、より一層のご協力をお願いしたい。</p> <p>次回以降も、引き続き委員の皆さまにはご検討ご協力をお願いします。</p> <p>以上で本日の議事は終了とします。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他</p> <p>(1) 令和8年度実施分 地域予算提案事業について〔報告〕〔事務局より説明〕</p> <p>(2) 令和8年度 まちづくり懇談会ふれあいトークについて〔事務局より説明〕</p> <p>(3) 次回 大平地域会議 令和8年6月25日(木)午後6時30分から 大平総合支所 新館2階 第1.2会議室</p> <p>5 閉会</p>

別紙1 出席者、欠席者、事務局職員、その他出席者等

<委員> 出席 13名 / 定員 15名

出席	職	氏名	出席	職	氏名
○	会長	藤倉 竜広	○	副会長	三井 健
○	委員	青木 晴美	○	委員	青木 理恵
○	委員	植原 瑞恵	○	委員	大豆生田 全毅
	委員	川井 正枝	○	委員	川田 健太郎
○	委員	小堀 和子	○	委員	清水 泰子
○	委員	田村 誠志		委員	津布楽 俊夫
○	委員	富田 昌敏	○	委員	仲三河 マコト
○	委員	柳田 和子			

<事務局>

出席	職	氏名
○	大平地域まちづくりセンター 所長 (大平地域づくり推進課 課長)	渡辺 由夫
○	大平地域まちづくりセンター (大平地域づくり推進課 係長)	三浦 正明
○	大平地域まちづくりセンター (大平地域づくり推進課 主査)	山口 友香
○	大平地域まちづくりセンター (大平地域づくり推進課 主査)	桑野 貴大